

実績報告時の記載例

申請者は太線枠内をご記入下さい。

認証申請時に提出したコピーに実績を記入して下さい。

別記様式第3号 (要領第3-2-(2),3-7-(2),5-3-(2),10-4,15-2関係)

必ずaで記

××年 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度栽培計画(記録)

生産者	認証区分	農産物の種類	品 種	ほ場番号	ほ場数	栽培者数	栽培面積	認証申請番号
氏名 けやき生産組合 組合長 宮城 太郎	④	米 (移植栽培)	ひとめぼれ ササニシキ	<del>1-5,8</del> 1~3, 5, 8	<del>10</del> 5	3人	<del>180</del> 118 a	××認1152

作業内容		使 用 資 材												
		施肥・土づくり(肥料・資材)					病虫害・雑草防除(農薬)							
作業名	作業時期		資材名	化学肥料(窒素成分)		使用量 (kg/10a)	使用時期		農薬名	希釈倍率 (倍)	成分数	使用量 (/10a)	使用時期	
	計画	実績		含有率(%)	成分量(kg)		計画	実績					計画	実績
塩水選	2月下旬	2月26日	<育苗>						△△△液剤10	500	2	500ml/箱 ×20箱	4月中旬	
温湯種子消毒(63℃5分)	2月下旬	3月6日	△□無肥料培土	0	0	80	4月上旬	4月7日	○○○箱粒剤		2	50g/箱 ×20箱	5月上旬	5月2日
耕起・たい肥散布	3月上旬	3月18日	○○育苗肥料	10	0.04	0.4	4月上旬	4月7日	◇◇◇1キロ粒剤75		3	1kg	5月上旬	5月11日
浸種	3月上旬	4月7日				(20g/箱×20箱)			▽▽▽粉剤DL		1	3kg	8月中旬	
催芽, 播種, 育苗	4月上旬	4月11日	<基肥>						□□□フロアブル		1	100ml/箱 ×20箱	4月11日	
基肥散布	4月上旬	4月19日	牛ふんたい肥	0	0	1000	3月上旬	3月6日						
代かき	4月中旬	5月1日	△△有機2号	3.52	1.403	40	4月上旬							
いもち初期害虫防除	5月上旬	5月2日	○□スーパー有機入り肥料	2.1	0.42	20		4月19日						
田植え	5月上旬	5月9日	<追肥>											
除草剤散布	5月上旬	5月11日	□□化成	16	0.8	5	7月上旬	7月9日						
中干し	6月下旬	6月29日												
追肥散布	7月上旬	7月9日												
カメムシ防除	8月中旬	8月12日												
収穫・調製	9月下旬	9月27日												

使用予定の資材で、実際に使用しなかったものには、取消線(赤の二重線)を付す。

空欄でも、取消線がなければ、使用したものとみなされ

合計値を記入。

合計値を記入。

最終実績まで記入。

育苗期間の栽培環境について	露地	施設	化学肥料の合計施用量 (窒素成分量 kg/10a)	基準 3.5 kg	計画 2.24 kg	認証時* 1.26 kg	実績 1.26 kg	節減対象農薬の延べ 有効成分数	基準 8 成分	計画 8 成分	認証時* 7 成分	実績 7 成分
定植後の栽培環境について	露地	施設										

(いずれかに○印を記入) ↑

↓記入者チェック欄(有・無いずれかに○印を記入) ↑認証時\*欄には、計画変更の場合、現地確認時までの使用実績、それ以降の計画分を加えた数値を記載。計画変更がない場合は、空欄とし実績報告時に実績欄に記載する。

その他使用資材	使用量 (/10a)	使用時期 計画 実績
○×▽液		
全収穫量	kg	全出荷量
<del>7800</del> =5900 5664		<del>7400</del> =5664 5428
10a当たり収穫量	kg	10a当たり出荷量
<del>500</del> 480		<del>480</del> 460

実績値を記入。

- 種子・苗の消毒  
 有・無  
方法や農薬名を栽培計画(記録)に記載。
- 予定にない肥料・農薬・資材の使用(現地確認時)  
 有・無  
使用資材の欄に赤字で記載。

栽培指導者	
住所	〇〇市▽▽字□ □△△管農センター
氏名	米田 豊作
電話	〇〇〇-〇〇〇-××××
確認責任者	
住所	
氏名	
電話	

栽培指導者現地確認欄	
計画時期	実績年月日・印
5月上旬	5月10日
6月中旬	6月15日
8月中旬	8月25日
栽培指導者受領確認欄 (受領年月日・印)	
××年9月2日	

県機関記入欄(収受印)  
栽培指導者が本書類を受領した年月日を記入する。